

# 認定書

国住指第 2238 号  
平成 25 年 11 月 1 日

旭化成建材株式会社  
代表取締役 前田 富弘 様

国土交通大臣 太田 昭宏



下記の構造方法等については、建築基準法第 68 条の 26 第 1 項（同法第 88 条第 1 項において準用する場合を含む。）の規定に基づき、同法第 2 条第八号並びに同法施行令第 108 条第一号及び第二号（外壁（耐力壁）：各 30 分間）の規定に適合するものであることを認める。

## 記

1. 認定番号  
PC030BE-3007
2. 認定をした構造方法等の名称  
軽量気泡コンクリートパネル・火山性ガラス質複層板表張／木製軸組造外壁
3. 認定をした構造方法等の内容  
別添の通り

（注意）この認定書は、大切に保存しておいてください。

## 1. 構造名：

軽量気泡コンクリートパネル・火山性ガラス質複層板表張／木製軸組造外壁

## 2. 申請仕様の寸法：

申請仕様の寸法を表1に示す。

表1 申請仕様の寸法

| 項 目    | 申 請 仕 様                 |
|--------|-------------------------|
| 壁の高さ   | 構造計算等によって構造安全性が確かめられた寸法 |
| 壁の厚さ   | 146mm以上                 |
| 柱・間柱間隔 | 500mm以下                 |

## 3. 申請仕様の主構成材料：

申請仕様の主構成材料を表2に示す。

表2 申請仕様の主構成材料

| 項 目       | 申 請 仕 様  |
|-----------|--|
| 柱(荷重支持部材) | 材料：日本農林規格に適合する構造用製材又は構造用集成材<br>断面寸法：105×105mm以上  |
| 間柱        | 材料：日本農林規格に適合する針葉樹の造作用製材又は下地用製材<br>断面寸法：27×105mm以上  |
| 外装材       | 材料：軽量気泡コンクリートパネル<br>構成：(1)及び(2)<br>(1)軽量気泡コンクリート<br>化学成分(質量%)：<br>酸化カルシウム 20～50<br>二酸化珪素 30～65<br>酸化アルミニウム 1～5<br>酸化鉄 0.5～5<br>イオウ酸化物 1～5<br>原料中に含有する微量成分(酸化マンガン、酸化カリウム等) 0.5～5<br>強熱減量成分(水、二酸化炭素等) 5～20<br>密度：①、②又は③<br>①350(±40)kg/m <sup>3</sup><br>②400(±40)kg/m <sup>3</sup><br>③500(±50)kg/m <sup>3</sup><br>(2)補強材<br>材料：①及び②<br>①メタルラス<br>材質：冷間圧延鋼板及び鋼帯(JIS G 3141)<br>厚さ：0.8mm以上<br>単位面積質量：650(±65)～1100(±110)g/m <sup>2</sup><br>②防錆材<br>単位面積質量：<br>メタルラスの単位面積質量650(±65)～750(±75)g/m <sup>2</sup> 未満の場合<br>; 150(±30)g/m <sup>2</sup> 以下<br>メタルラスの単位面積質量750(±75)～1100(±110)g/m <sup>2</sup> 以下の場合<br>; 200(±40)g/m <sup>2</sup> 以下 |

つづく

つづき

|       |  |
|-------|--|
| 外装材   | 形状：<br>1)外形寸法<br>厚さ：35(±2)～50(±2)mm<br>幅：600(±4)～606(±4)mm<br>長さ：910(±5)～2000(±5)mm<br>2)断面形状<br>平板又はエンボス板<br>3)容積欠損率：7.6(±1.0)%以下(裏面からの厚さ35mm以下の部分)<br>張り方：縦張 |
| 断熱材   | 仕様：なし  |
| 構造用面材 | 材料：火山性ガラス質複層板(JIS A 5440)<br>厚さ：6～25mm   |

4. 申請仕様の副構成材料：

申請仕様の副構成材料を表3に示す。

表3 申請仕様の副構成材料

| 項目                 | 申請仕様  |
|--------------------|---|
| <p>胴縁</p>          | <p>材料：①、②又は③<br/>           ①日本農林規格に適合する針葉樹の下地用製材又は下地用集成材<br/>           ②日本農林規格に適合する針葉樹の造作用製材<br/>           ③日本農林規格に適合する普通合板又は構造用合板<br/>           取付間隔：500mm以下<br/>           取付仕様：(1)又は(2)<br/>           (1)取付仕様1<br/>               断面寸法：厚さ12mm以上、幅45mm以上<br/>           (2)取付仕様2<br/>               断面寸法：厚さ12～18mm、幅45mm以上<br/>               柱・間柱の切り欠き深さ：18mm以下</p> |
| <p>防水紙</p>         | <p>材料：①、②又は③<br/>           ①アスファルトフェルト(JIS A 6005)<br/>               単位質量面積の呼び：430以下<br/>           ②透湿防水シート(JIS A 6111)<br/>               材質：1)、2)又は3)<br/>                 1)ポリエチレン<br/>                 2)ポリエステル<br/>                 3)ポリプロピレン<br/>               厚さ：0.4mm以下、<br/>               単位面積質量：100g/m<sup>2</sup>以下<br/>           ③なし</p>                  |
| <p>外装材用目地処理材</p>   | <p>材料：建築用シーリング材(JIS A 5758)<br/>           材質：1)～7)の一<br/>           1)アクリル系樹脂<br/>           2)ポリウレタン系樹脂<br/>           3)アクリルウレタン系樹脂<br/>           4)ポリイソブチレン系樹脂<br/>           5)ポリサルファイド系樹脂<br/>           6)シリコン系樹脂<br/>           7)変性シリコン系樹脂<br/>           使用量：50(±5)g/m以上</p>   |
| <p>外装材用留付材部補修材</p> | <p>材料：①又は②<br/>           ①アクリル樹脂系補修材<br/>           ②セメント系補修材<br/>           使用量：3(±0.3)g/1箇所以下</p>  |
| <p>留付材</p>         | <p>外装材用<br/>           材料：木ねじ<br/>           材質：1)又は2)<br/>           1)冷間圧造用炭素鋼(JIS G 3507-2)<br/>           2)冷間圧造用ステンレス鋼線(JIS G 4315)<br/>           寸法：胴部径φ3.9×長さ40mm以上<br/>           留付間隔：<br/>           短辺方向 胴縁上に中央1箇所以上<br/>           長辺方向<br/>           1000mmを超え2000mm以下の場合；胴縁上に500mm以下(両端部を除く)<br/>           910mm以上1000mm以下の場合；胴縁上に中央1箇所以上</p>              |

つづく

つづき

|            |  |
|------------|--|
| <p>留付材</p> | <p>構造用面材用<br/>           材料：①～⑥の一<br/>           ①鉄丸くぎ(JIS A 5508)<br/>               寸法：N32以上<br/>           ②太め鉄丸くぎ(JIS A 5508)<br/>               寸法：CN32以上<br/>           ③シーリングボード用くぎ(JIS A 5508)<br/>               寸法：SN32以上<br/>           ④せっこうボード用くぎ(JIS A 5508)<br/>               寸法：GN32以上<br/>           ⑤リングくぎ、スクリューくぎ又はくぎ<br/>               材質：1)又は2)<br/>                 1)冷間圧造用炭素鋼(JIS G 3507-2)<br/>                 2)冷間圧造用ステンレス鋼線(JIS G 4315)<br/>               寸法：胴部径φ1.9×長さ32mm以上<br/>           ⑥木ねじ又はタッピングねじ<br/>               材質：1)又は2)<br/>                 1)冷間圧造用炭素鋼(JIS G 3507-2)<br/>                 2)冷間圧造用ステンレス鋼線(JIS G 4315)<br/>               寸法：胴部径φ1.9×長さ25mm以上<br/>           留付間隔：周辺部200mm以下、中間部300mm以下</p> |
|            | <p>胴縁用<br/>           材料：①、②又は③<br/>           ①鉄丸くぎ(JIS A 5508)<br/>               寸法：N32以上<br/>           ②くぎ<br/>               材質：1)又は2)<br/>                 1)冷間圧造用炭素鋼(JIS G 3507-2)<br/>                 2)冷間圧造用ステンレス鋼線(JIS G 4315)<br/>               寸法：胴部径φ1.9×長さ32mm以上<br/>           ③木ねじ又はタッピングねじ<br/>               材質：1)又は2)<br/>                 1)冷間圧造用炭素鋼(JIS G 3507-2)<br/>                 2)冷間圧造用ステンレス鋼線(JIS G 4315)<br/>               寸法：胴部径φ1.9×長さ25mm以上<br/>           留付間隔：500mm以下</p>   |
|            | <p>防水紙用(防水紙を用いる場合)<br/>           材料：工業用ステープル(JIS A 5556)<br/>           材質：1)又は2)<br/>               1)ステンレス鋼線(JIS G 4309)<br/>               2)鉄線(JIS G 3532)<br/>           寸法：内幅10mm以上、足の長さ6mm以上<br/>           留付間隔：縦500mm以下、横500mm以下</p>   |

5. 申請仕様の構造説明図：  
 申請仕様の構造説明図を図1～図5に示す。

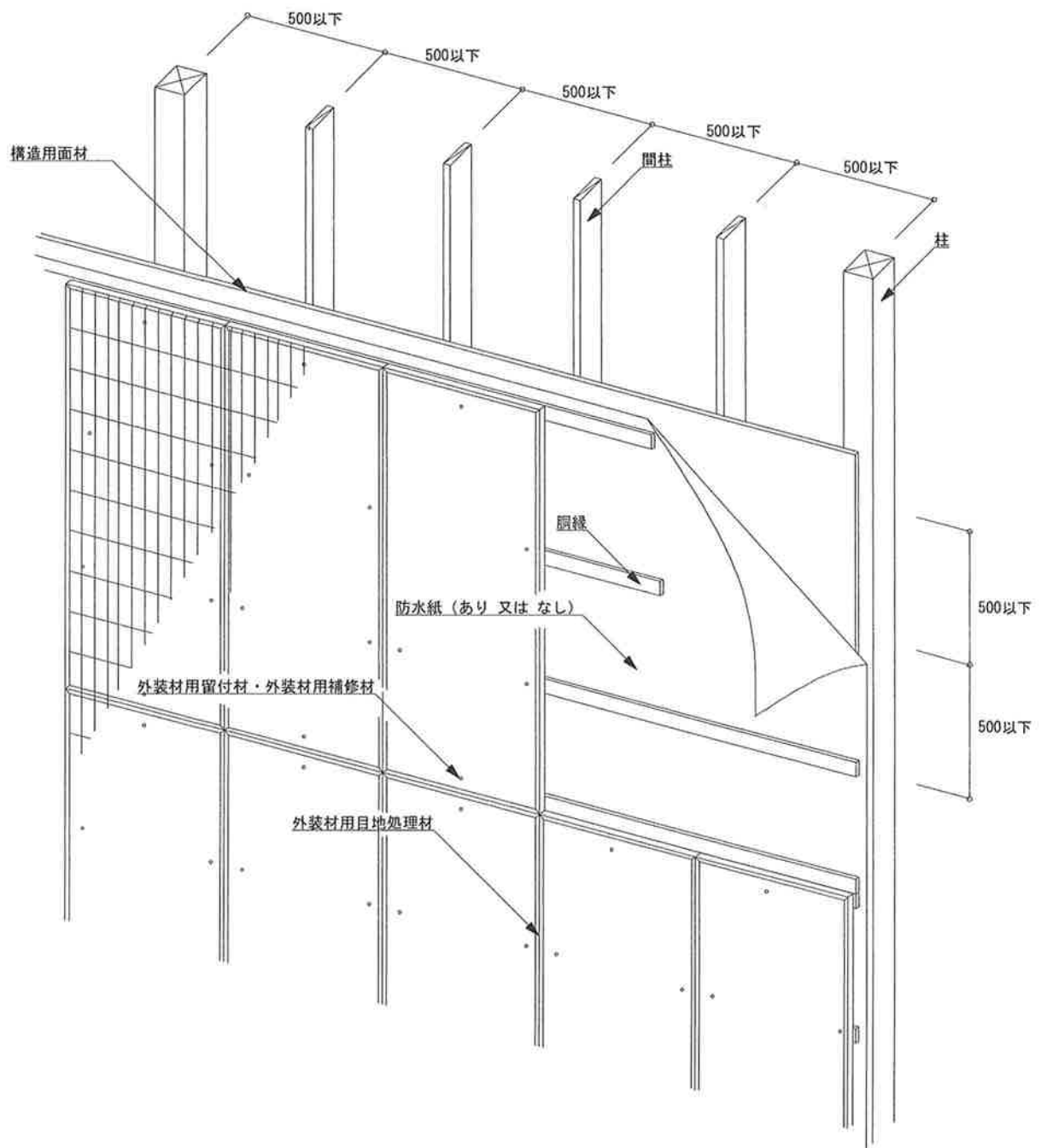


図1 構造説明図 (透視図・胴縁取付仕様1・構造用面材あり・断熱材なし)

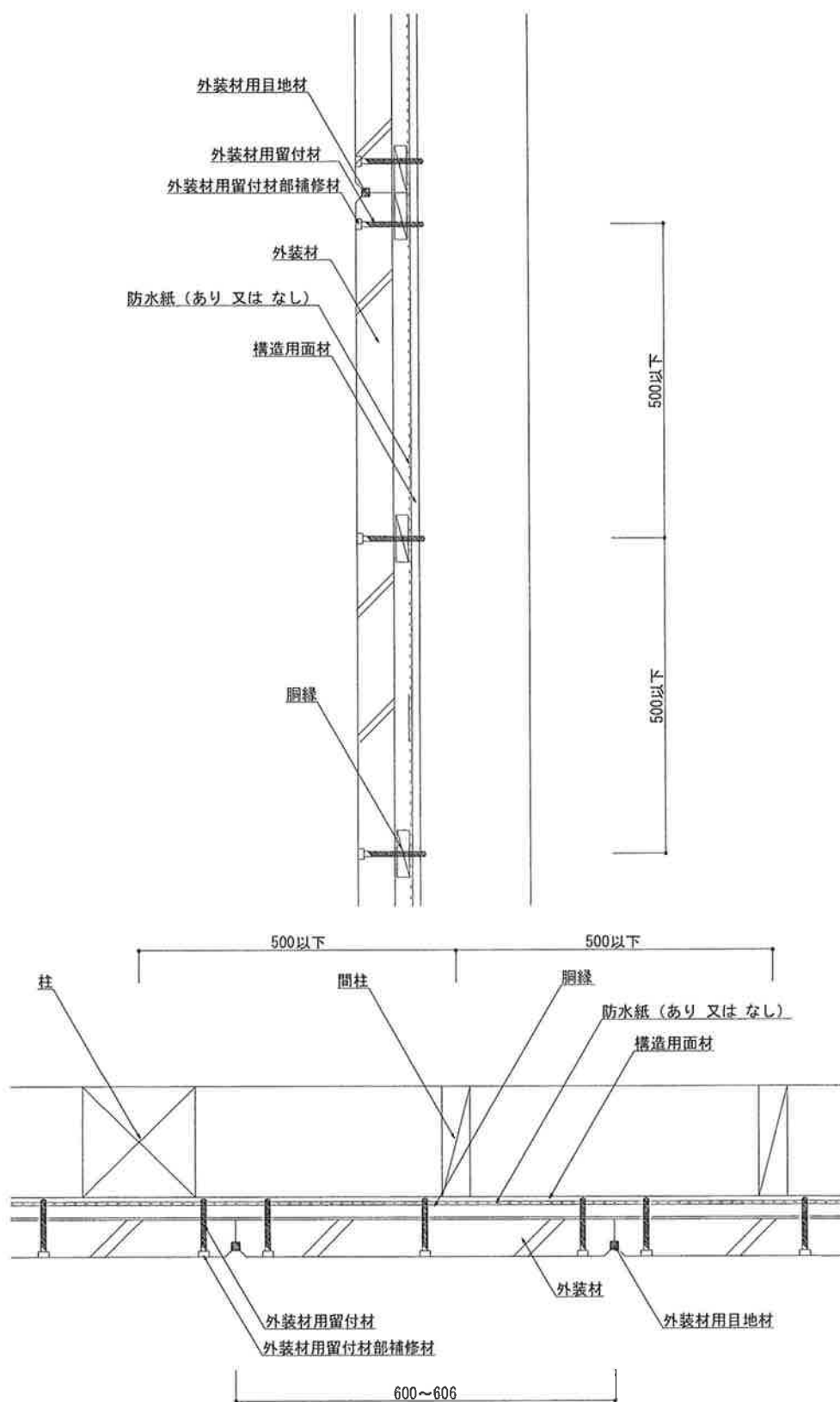


図2 構造説明図 (水平垂直断面詳細図・胴縁取付仕様1・構造用面材あり・断熱材なし)

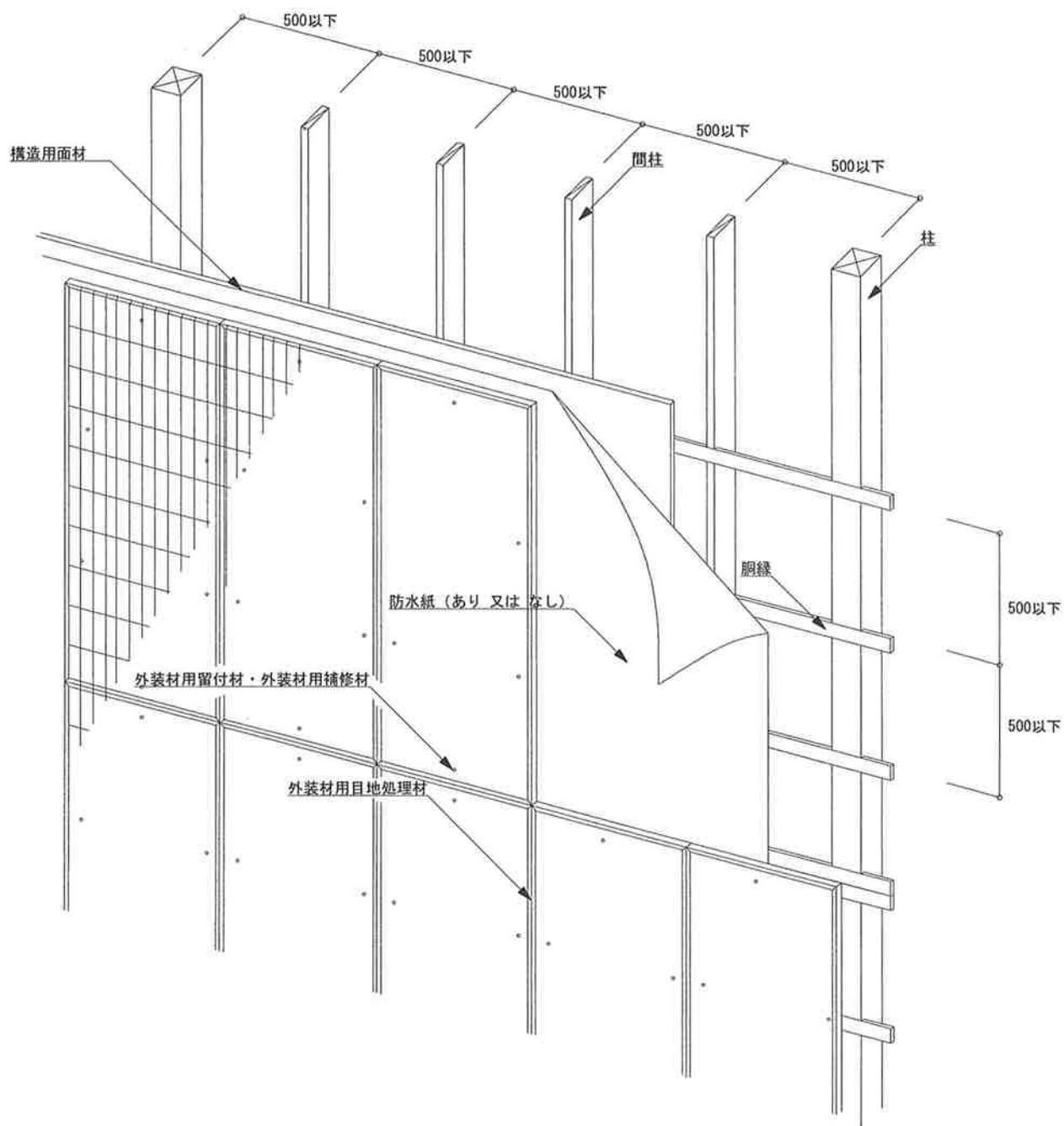


図3 構造説明図 (透視図・胴縁取付仕様2・構造用面材あり・断熱材なし)



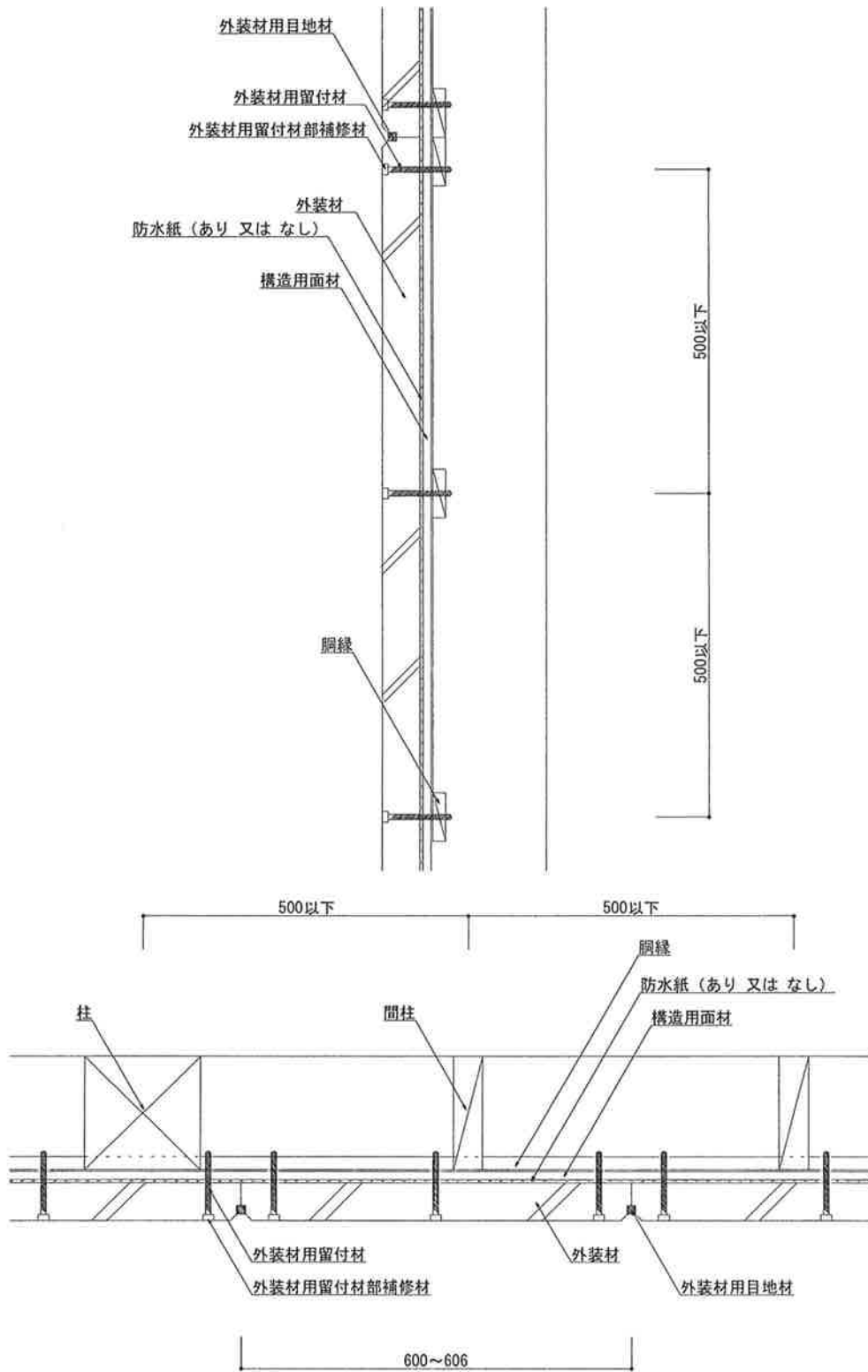
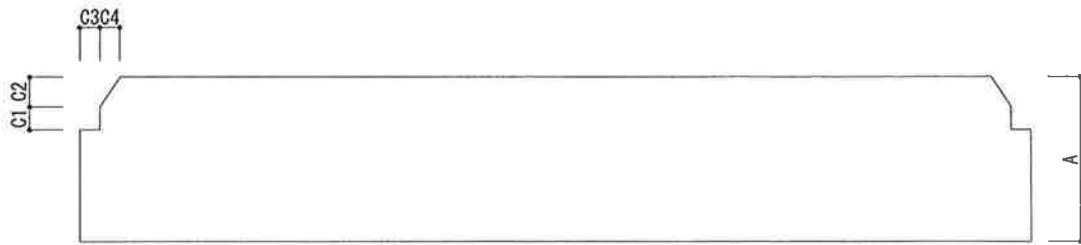
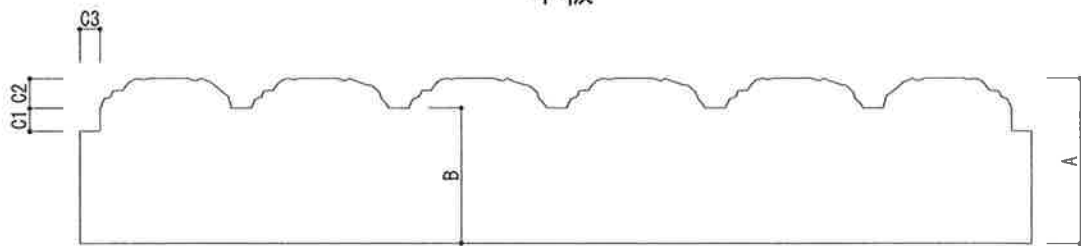


図4 構造説明図 (水平垂直断面詳細図・胴縁取付仕様2・構造用面材あり・断熱材なし)



平板



エンボス板

<外装材の形状>

| 項目         |                      | 標準値          | 許容差     |
|------------|----------------------|--------------|---------|
| 外装材の厚さ : A |                      | 35mm以上50mm以下 | ±2mm    |
| 断面欠損部      | 溝部分の厚さ : B           | 29mm以上       |         |
|            | 端部切り<br>欠き部の<br>寸法※1 | C1           | 7mm以下   |
|            |                      | C2           | 6mm以下   |
|            |                      | C3           | 3.5mm以下 |
|            |                      | C4           | 4mm以下   |
| 容積欠損率※2    |                      | 7.6%以下       | ±1.0%   |

※1 裏面から35mm以下の厚さの部分における寸法。

※2 裏面から35mm以下の厚さの部分における(端部切欠き部を含む)容積欠損の割合。

図5 構造説明図

## 6. 施工方法：

施工は以下の手順で行う。

### (1) 下地

柱及び間柱は反り曲がりのないものを土台の上部に垂直に使用し500mm以下の間隔で取り付ける。

### (2) 構造用面材の取り付け

構造用面材は、構造用面材用留付材を用いて柱もしくは間柱の表面に取り付ける。

### (3) 防水シートの張付け

防水紙を張付ける場合は、重ね代を縦90mm以上、横90mm以上とり、防水紙用留付材を用いて仮留めする。なお、張付ける際にはたるみ、しわのないように張付ける。

### (4) 胴縁の取り付け

胴縁は胴縁用留付材を用いて柱または間柱に取り付ける。

胴縁の取り付け方法は構造説明図に示す取付仕様1と取付仕様2がある。

### (5) 外装材の取り付け

- ・外装材の張り方は、縦張りとする。
- ・外装材の留付けは、外装材用留付材を用いて胴縁に取り付ける。
- ・端部留付位置は外装材端部より30mm以上内側の位置で、所定の位置に留付ける。  
取り付けは、目地通りよく、不陸、目違い等のないように行う。
- ・外装材相互の目地処理は、外装材用目地処理材を隙間が生じないように密に充てんする。
- ・外装材固定用留付材の頭部は、外装材表面より7mm以上の深さまで打ち込み、打ち込んだ凹部は、外装材用取付材部補修材を用いて充てんし、補修する。

### 【留意事項】

内装材を用いる仕様は、範囲外とする。